

# 会社案内 2021



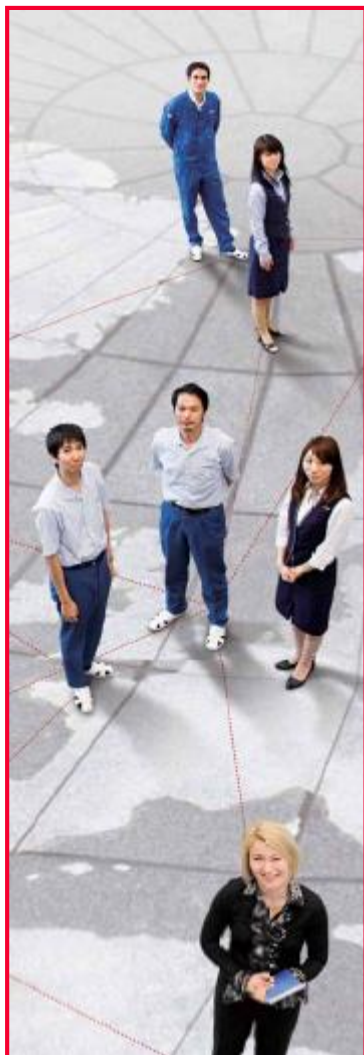
- **ムラタについて**
  - 経営理念
  - 概要
  - 技術
  - 生い立ち
  - 最近のM&A・アライアンス
  - グローバルネットワーク
  - 組織
- **製品について**
- **財務データ**



創業者 村田昭

## 社 是

技術を練磨し  
科学的管理を実践し  
独自の製品を供給して  
文化の発展に貢献し  
信用の蓄積につとめ  
会社の発展と  
協力者の共栄をはかり  
これをよろこび  
感謝する人びとと  
ともに運営する



村田製作所は、最先端の技術、部品を創出する総合電子部品メーカーです。Innovator in Electronicsをスローガンに掲げ、豊かな社会の実現をめざします。



## ムラタの強み

- 最先端の材料を研究開発
- 広範囲な製品ラインナップ
- グローバルな生産、販売ネットワーク

## ムラタのプロフィール

- 創業： 1944年
- 売上高： 1兆6千301億9千3百万円
- 企業数： 89社（国内29社、海外60社）
- 従業員数： 75,184名（国内31,775名、海外43,409名）

※売上高は、2021年3月期決算。  
※従業員数は2021年3月31日時点のものです。  
※グループ企業数は2021年3月31日時点のものです。  
※村田製作所はグループ企業数に含まれておりません。

材料技術						
	材料設計	材料プロセス				
前工程技術						
	積層	印刷	焼成	薄膜微細加工	表面処理	精密加工
商品設計技術						
	高周波設計	デバイス設計	組み込み	高信頼性設計	回路設計	シミュレーション
後工程技術						
	パッケージング	計測	自動化設備	IE		
分析・評価技術						
	材料分析	故障解析				

## company



**社是**  
 技術を継承し  
 科学的管理と実践し  
 独自の製品を供給して  
 文化の発展に貢献して  
 信譽の基盤に中心の  
 会社の発展と  
 協力の発展をはかり  
 これをよきこころ  
 感謝するものと  
 ともに進歩する



1944年村田昭によって村田製作所を創業

社是の制定  
 村田技術研究所を設立

八日市事業所を設立  
 株式市場に上場

シンガポール、アメリカに生産会社を設立

国内外での事業増強

中国無錫に生産会社を設立

長岡京に新本社を建設  
 ムラタセイサク君®、ムラタセイコちゃん®誕生

村田製作所チアリーディング部誕生  
 売上高1兆円達成

1940s

1950s

1960s

1970s

1980s

1990s

2000s

2010s

温度補償用コンデンサ

セラミックフィルタ

消磁用 POSISTOR®

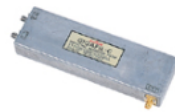
自動車電話機用アンテナ共用器 GIGAFIL®

チップ積層セラミックコンデンサ (MLCC)

表面波フィルタ

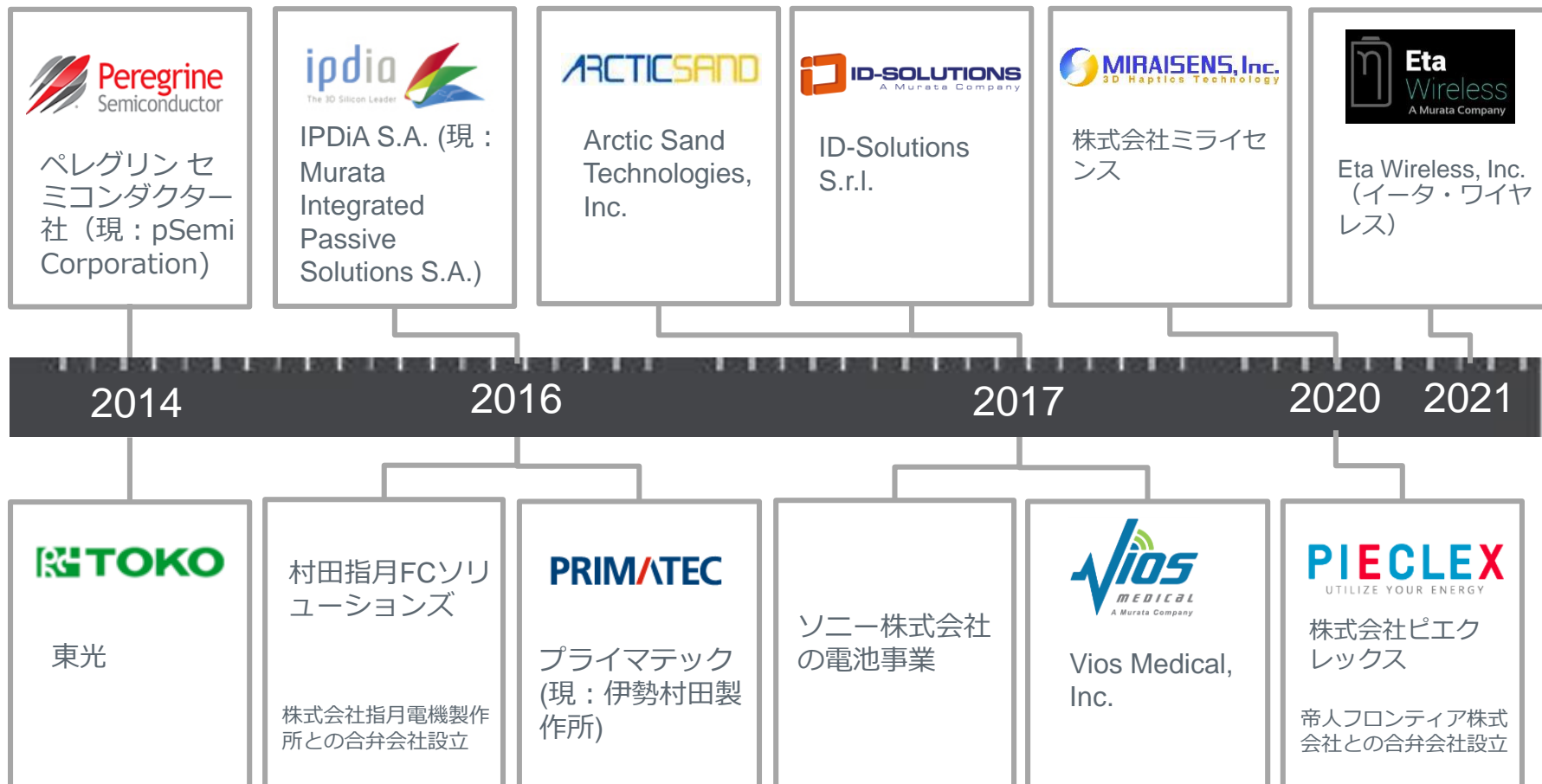
コネクティブィモジュール

ジャイロコンボセンサ  
 パワーアンプモジュール

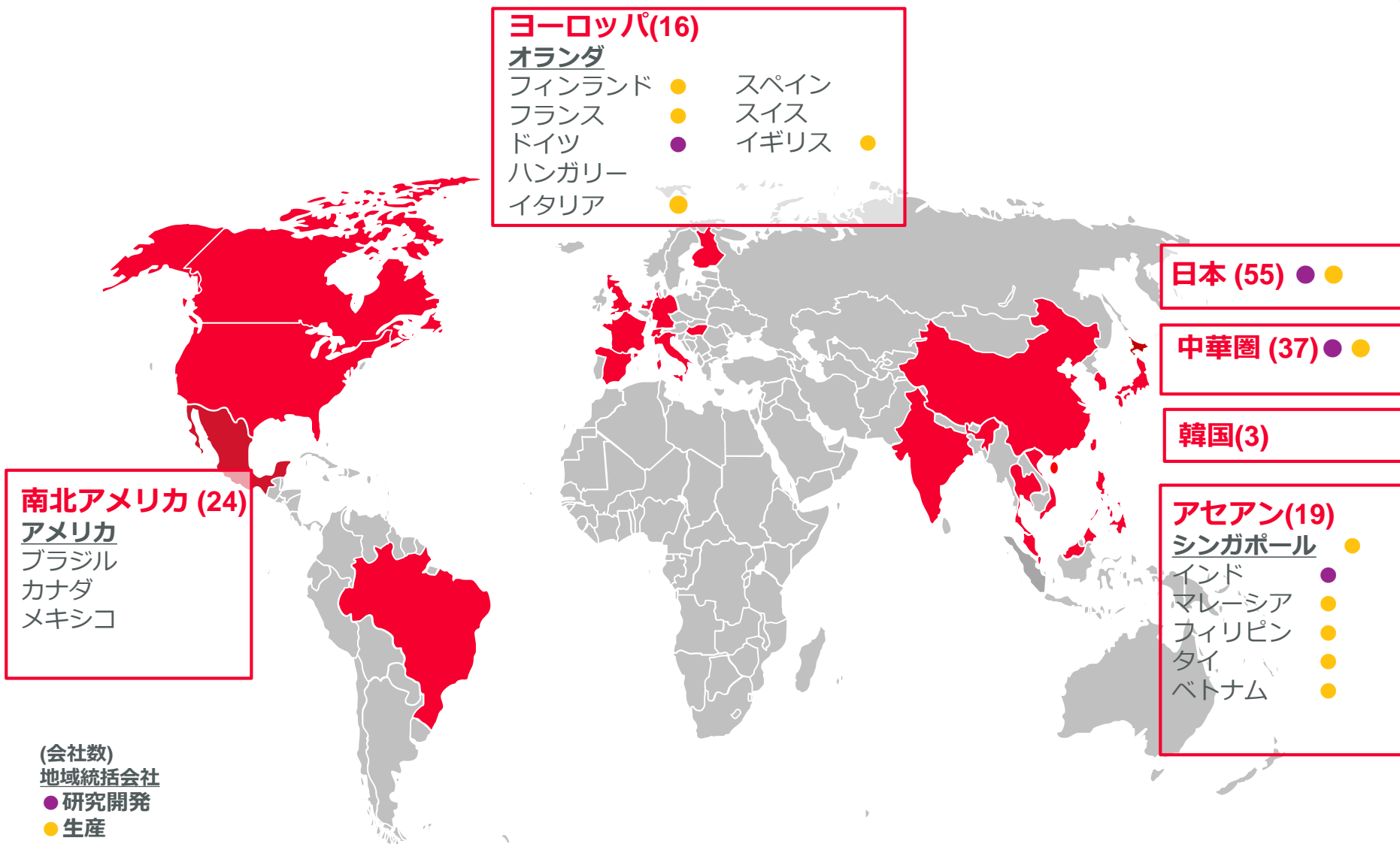


## innovations

# 最近のM&A・アライアンス



# グローバルネットワーク





# 組織体制



技術・事業開発本部

岩坪 浩



営業本部

藺田 聡



事業関連

コンデンサ事業部

パッシブデバイス  
事業部

EMI事業部

高周波デバイス  
事業部

通信モジュール  
事業部

機能デバイス  
事業部

エナジーデバイス  
事業部

パワーモジュール  
事業部

モジュール  
技術統括部

IoT 事業推進部

医療・ヘルスケア機器  
統括部

製造拠点

生産関連

モノづくり統括部

調達統括部

モノづくり技術統括部

品質保証統括部

企画管理関連

管理グループ

知的財産グループ

人事グループ

情報システム統括部

経理・財務・企画グループ

市場渉外部

## ムラタの技術が、 エレクトロニクスの 可能性を押し広げます

- スマートフォンやパソコン、AV機器、家電製品などのエレクトロニクスの中心分野から
- 自動車やエネルギー、ヘルスケアなどの領域へも

## 暮らしに安心、安全、便利を・・・

### 通信機器



- 基地局
- 固定無線アクセス機器
- G-PON
- ルータ・スイッチ

### モビリティ



- 電気自動車
- インフォテインメント
- ADAS
- 安全システム
- 自動二輪車

### エンタープライズシステム



- サーバ
- データセンタ
- ストレージシステム

### 産業用機器



- ファクトリーオートメーション
- セキュリティ・ビルオートメーション
- スマートグリッド

### ヘルスケア・メディカル



- パーソナルヘルスケア機器
- 医療用機器

### パーソナルエレクトロニクス



- スマートフォン
- ウェアラブル・ヒアラブル
- PC・タブレット
- 家電製品

## 基盤市場

### 通信



通信機器の高機能化、多機能化、また次世代通信技術の5Gによる高度な要求など、お客様のニーズに技術力、製品力で貢献します。

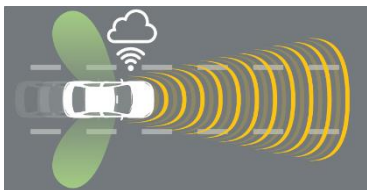
## 挑戦し続ける市場

### エネルギー



再生可能エネルギーの拡大や電力消費の効率化などの需要に対し、蓄電池の開発や通信・センシング技術で省エネルギー化に貢献します。

### 自動車



電動化・自動運転化・安全走行のためのセンサや通信モジュールなどお客様に安心をもたらす「高信頼性」を共通価値とし、幅広いラインアップを揃え、成長を持続させます。

### メディカル・ヘルスケア



患者様の負担を軽減する医療機器から医療IT分野に、小型・高信頼性製品を提供し、お客様のニーズにお応えします。

# 製品別戦略（3枚の事業ポートフォリオ）

中長期的な持続的成長に向けて、既存のコンポーネント製品やモジュール製品に加えて、新たに「ソリューションビジネス」の創出に取り組んでいます。

ソリューションビジネス  
ソフトウェア・サービスまで含む

## 3枚目のポートフォリオ

- 顧客との協業と適合したビジネスモデルの構築
- 明確な価値創造とマネタイズモデルの確立

## 2枚目のポートフォリオ

- 競合他社との差異化技術
- マーケットリーダーとなる顧客要求の実現
- プロセス・材料の標準化によるマスカスタマイゼーション

## 1枚目のポートフォリオ

- 基幹技術の進化
- 継続した技術革新
- 高いコスト競争力を実現する供給力

用途特化型ビジネス  
モジュール・フィルタ・センサ  
メトロサーク・電池など、カスタムが必要

コンポーネントビジネス  
コンデンサ・インダクタ  
EMI除去フィルタなど、標準品が中心

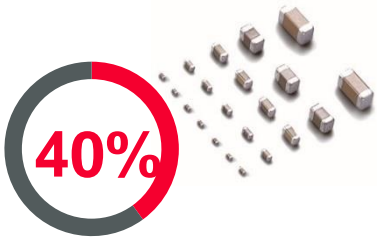
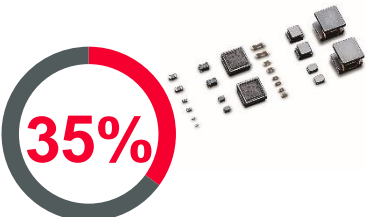
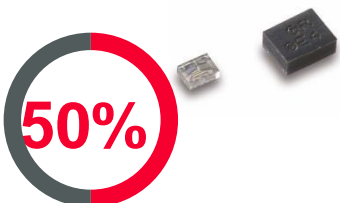
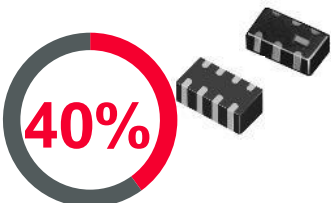

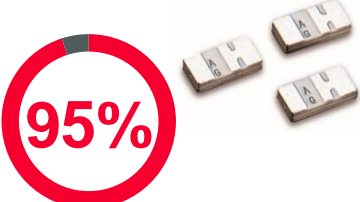
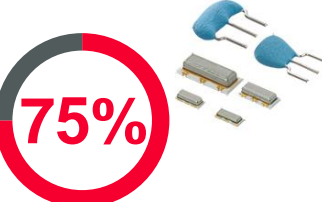
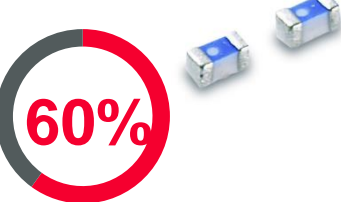
# 製品ラインアップ (1/2)

			
<p>コンデンサ(キャパシタ)</p>	<p>インダクタ (コイル)</p>	<p>ノイズ対策部品 EMI除去フィルタ ESD保護デバイス</p>	<p>抵抗器</p>
			
<p>サーミスタ (温度センサ)</p>	<p>センサ</p>	<p>タイミングデバイス (MEMS振動子/水晶振動子/ セラミック発振子/水晶発振器)</p>	<p>水晶応用製品</p>
			
<p>発音部品 (ブザー)</p>	<p>電源関連製品</p>	<p>バッテリー</p>	<p>マイクロメカトロ</p>
			
<p>RFID製品</p>	<p>マッチングデバイス</p>	<p>バラン</p>	<p>カプラ</p>

# 製品ラインアップ (2/2)






			
フィルタ	フェイズシフタ	RFスイッチ	フロントエンド モジュール
			
SAWコンポーネント	コネクタ	アンテナ	通信モジュール
			
ワイヤレス接続 プラットフォーム	イオナイザモジュール オゾナイザモジュール	デジタルパネルメータ	

# 主要製品の世界シェア\*

 <p>40%</p>	 <p>35%</p>	 <p>50%</p>	 <p>40%</p>
チップ積層セラミックコンデンサ	EMI除去フィルタ (EMIFIL®)	表面波フィルタ	多層LCフィルタ (フィルタ、バラン、カプラなど)
 <p>40%</p>	 <p>95%</p>	 <p>75%</p>	 <p>60%</p>
マイクロ 배터리 「酸化銀電池」	ショックセンサ	セラミック発振子	高周波インダクタ

\*主要製品の世界シェアは当社推定値です。また市場や用途により異なります。

# 主要製品の所要数

製品名	製品所要数					
	スマートフォン 	ノートPC 	タブレットPC 	自動車 	デジタルTV 	スマートウォッチ 
チップ積層セラミック コンデンサ	1000	800	600	5000-8000	600	200
EMI除去フィルタ (EMIFIL®)	60	60	90	230	50	30
表面波フィルタ	4-70		4-70			
コネクティビティモジュール	1	1	1	1	1	1
ショックセンサ		1-3		4		
セラミック発振子				15-20		
チップインダクタ (チップコイル)	300	30-50	200	350	30	30-50
多層LCフィルタ (フィルタ・カプラ・バランなど)	2-20	2-4	2-20	2-8	2	3



## 産業機器向け「FORTELION 24V バッテリーモジュール」

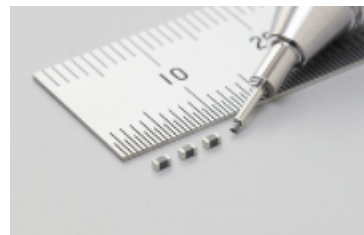


無人搬送車（AGV）やロボットなど高出力が求められる産業機器に適したバッテリーモジュールを開発・量産開始しました。

当社独自のリチウムイオン二次電池“FORTELION”※（フォルテリオン）を使用し、長寿命、高い安全性を実現しています。お使いの「鉛蓄電池」から置き換えることでメンテナンスや充電などの作業負担を減らし業務効率化を実現します。

※“FORTELION”は株式会社村田製作所の商標です。

## 車載電源向けフェライトビーズ 「BLM18SP\_SH1シリーズ」



車載電源向けに世界最小サイズのチップフェライトビーズを商品化・量産を開始しました。従来の2012サイズの商品と比べ、部品占有面積を50%省スペース化しています。

これにより、車載機器の電源ライン設計の自由度向上や、車載機器のさらなる小型化により自動運転システムの高度化に貢献します。

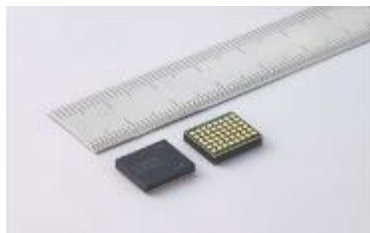
## 0402Mサイズで最大静電容量1.0 $\mu$ F / 0201Mサイズで最大静電容量0.1 $\mu$ Fの 積層セラミックコンデンサ



さまざまな電子機器での採用が進む0402Mサイズにおいて最大の静電容量となる1.0 $\mu$ F、および世界最小の0201Mサイズにおいて最大の静電容量となる0.1 $\mu$ Fの積層セラミックコンデンサを世界で初めて開発しました。

5Gに対応したスマートフォンの普及やウェアラブル端末など小型化・大容量化のニーズに応え、電子機器のさらなる小型化・多機能化に貢献します。

## DC-DCコンバータモジュール 「UltraBK™ MYTNシリーズ」



世界最小の実装面積および世界最高の電圧変換効率を実現したDC-DCコンバータモジュールを商品化・販売開始しました。

電源IC、インダクタ、コンデンサをワンパッケージ化し、DC-DCコンバータの超小型化・薄型化を実現しています。

## コミュニケーション解析 プラットフォーム“NAONA”

NAONA



従来の対面コミュニケーションだけでなく、コロナ禍でニーズが高まっている非対面でのオンラインコミュニケーションにも

対応したシステムの開発を進めています。昨今、企業導入が進んでいる「1on1」や人事採用での「グループディスカッション」などに向けた用途別アプリケーションも準備を進め、企業のデジタルトランスフォーメーションに貢献していきます。

## 全固体電池



当社の主力製品である積層セラミックコンデンサや多層デバイスなどで培ったプロセス技術と、最先端の電子部品を開発する中で蓄積した多様な材料技術を組み合わせ開発しました。

一般的な電池で使用する電解液の代わりに、酸化物セラミックス系電解質を使用したことで、「燃えない」「熱に強い」特性を有しています。

## 作業安全モニタリングシステム



「作業安全モニタリングシステム」の開発、販売※を開始しました。現場環境に応じた通信方式の選択が可能で、クラウドUIを通して遠隔地からリアルタイムで

作業員の生体情報、周囲環境（作業環境）、位置情報の把握が可能となります。また、それらのデータを独自ロジックにより解析することで、熱ストレス、転倒・落下のアラート発報も可能です。

※無線通信の制約により日本でのみ販売

## RFIDミドルウェア 「id-Bridge™」



「id-Bridge™」は、製造現場や物流倉庫における在庫管理や物流業務の負荷軽減に、RFIDを容易に導入出来るミドルウェアアプリケーションです。2020年からは、実証実験や小規模から運用を始められるトライアルサービスを開始しています。

## ハプティクス生成ミドルウェア 「3DHapticsSDK」



世界で初めてリアルな挙動感を直感的にデザインできるハプティクス生成ミドルウェア「3DHapticsSDK」を開発しました。

今後は、AR/VRや車載、メディカル領域など、様々な市場ニーズへの対応を目指しています。

## 圧電繊維 「PIECLEX(ピエクレックス)」



帝人フロンティア株式会社と共同で、世界初となる、力が加わることで電気エネルギーを生み出し抗菌性能を発揮する圧電繊維「PIECLEX」を開発しました。衣料製品をはじめ、産業資材用途まで幅広く展開していきます。

## 交通量を見える化する トラフィックカウンタシステム



当システムによるデータ提供サービスをインドネシアで、2021年4月から開始しました。交通量だけでなく、道路上の走行車種や道路周辺

環境情報などもデータ化することが可能です。今後は、タイやマレーシアなどアセアン地域での展開を進めていきます。

## みなとみらいイノベーションセンター

関東最大規模となる研究開発拠点を設立しました。自動車、IoT、エネルギー、ヘルスケアなどの基盤市場・新規市場向け製品の研究開発、マーケティング機能を担います。地の利を生かし、外部パートナーとの協業、産学連携を通じてイノベーションを創出してまいります。



車載ビジネスを紹介する「展示室」



新たな可能性を生み出す「共創スペース」



イノベーション創出に貢献する「オフィス」



多様なシーンで活用できる「食堂」



外観

## 子ども向け科学体験施設 Mulabo!（ムラーボ！）

**Mulabo!**  
ムラーボ!



みなとみらいイノベーションセンター内にオープンしたムラタ初の一般公開施設です。

「エンジニアの卵が生まれるきっかけの場」をコンセプトとし、当社の事業活動と紐づいた「科学」をテーマにSTEM※2教育・文化の発展に寄与します。

※2 Science, Technology, Engineering, Mathematicsの略

# 社会課題を起点とする非財務の重点課題

## 機会の側面

気候変動対策の強化に貢献する高効率部品  
持続可能な資源の利用を促進する軽薄短小部品



## リスクの側面

### E 環境

気候変動対策の強化  
持続可能な資源利用  
公害防止と化学物質管理



### G ガバナンス

安全・安心な職場と健康経営  
人権と多様性の尊重  
地域社会との共生



### S 社会

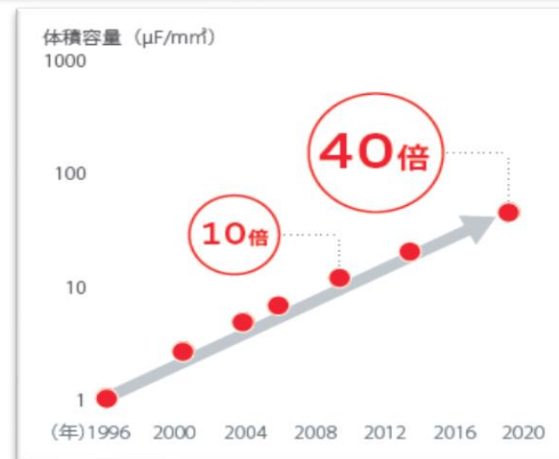
公正な商取引  
情報セキュリティ  
事業継続の取組み (BCM)



## 持続可能な資源利用を促進する軽薄短小部品

ムラタの事業を通じた社会課題の解決への取り組みのひとつとして、小型化を追求して利便性を図りながら、幅広い市場への製品供給があります。

中でもMLCC(積層セラミックコンデンサ)の体積容量(μF/mm<sup>3</sup>)の変遷は、軽薄短小の技術開発が社会のニーズに応え、お客様の商品を通じて人々の生活の利便性向上や持続可能な資源利用に貢献してきたひとつの成果といえます。



## 気候変動対策の強化

### TCFDへの対応

### RE100への加盟



・2020年2月7日賛同を表明しました

- ・2020年12月に加盟しました
- ・2050年までに事業活動での使用電力の再生可能エネルギー使用比率を100%とすることを目指します

- ・日本最大級となる駐車場型メガソーラーシステムを導入しました
- ・年間1,698t-CO<sub>2</sub>のCO<sub>2</sub>を削減予定

# 社外からの評価

## 2020 MSCI ESG Leaders Indexes Constituent

THE INCLUSION OF Murata Manufacturing Co., Ltd. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF Murata Manufacturing Co., Ltd. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES.  
THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

MSCI ESG Leaders Indexesは、米国のMSCI社が開発したインデックスで、特に環境・社会・ガバナンス（ESG）に優れた企業を選定したものです。  
ムラタは、2011年度より当構成銘柄に選定されています。

## 2020 CONSTITUENT MSCI JAPAN ESG SELECT LEADERS INDEX

THE INCLUSION OF Murata Manufacturing Co., Ltd. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF Murata Manufacturing Co., Ltd. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES.  
THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

MSCI ジャパンESG セレクト・リーダーズ指数は、米国のMSCI社が開発したインデックスで、特に環境・社会・ガバナンス（ESG）に優れた日本企業を選定したものです。  
ムラタは、2017年度より当構成銘柄に選定されています。

## 2020 CONSTITUENT MSCI JAPAN EMPOWERING WOMEN INDEX (WIN)

THE INCLUSION OF Murata Manufacturing Co., Ltd. IN ANY MSCI INDEX, AND THE USE OF MSCI LOGOS, TRADEMARKS, SERVICE MARKS OR INDEX NAMES HEREIN, DO NOT CONSTITUTE A SPONSORSHIP, ENDORSEMENT OR PROMOTION OF Murata Manufacturing Co., Ltd. BY MSCI OR ANY OF ITS AFFILIATES.  
THE MSCI INDEXES ARE THE EXCLUSIVE PROPERTY OF MSCI. MSCI AND THE MSCI INDEX NAMES AND LOGOS ARE TRADEMARKS OR SERVICE MARKS OF MSCI OR ITS AFFILIATES.

MSCI日本株女性活躍指数（WIN）は、米国のMSCI社が開発したインデックスで、特に女性の活躍度の高い日本の企業を選定したものです。ムラタは、2020年度より当構成銘柄に選定されています。



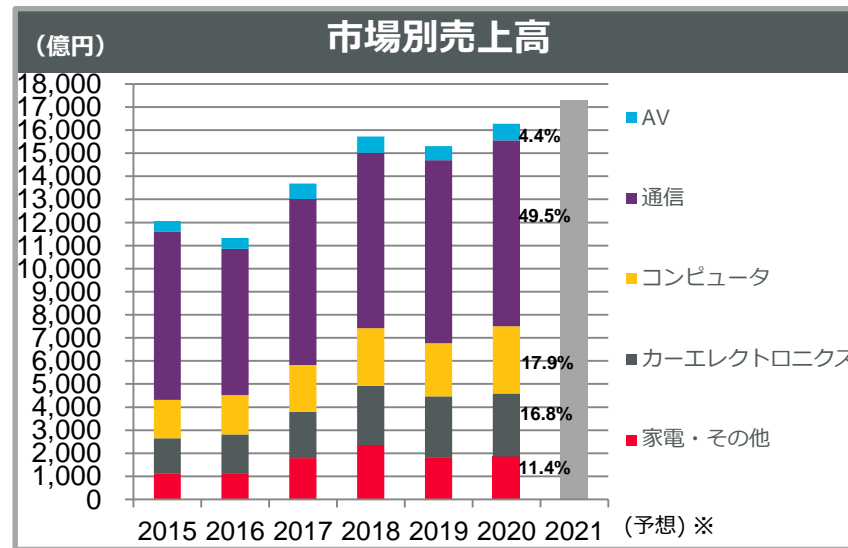
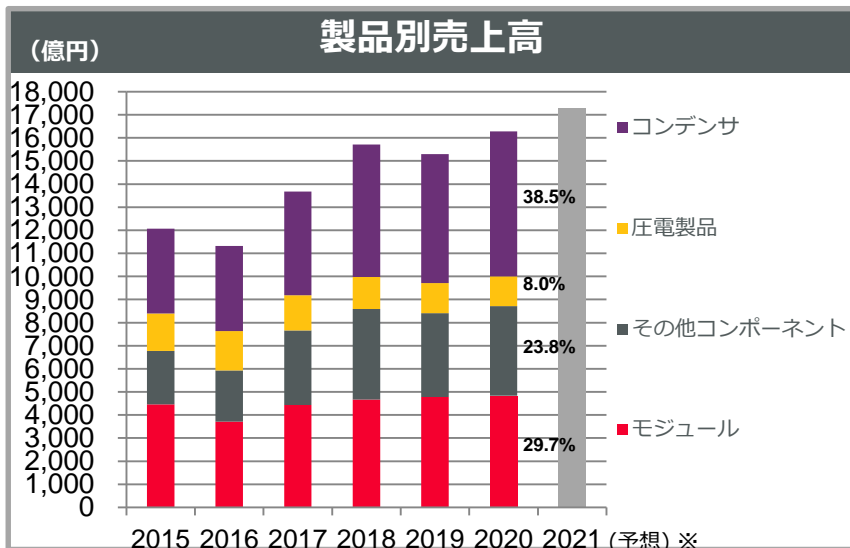
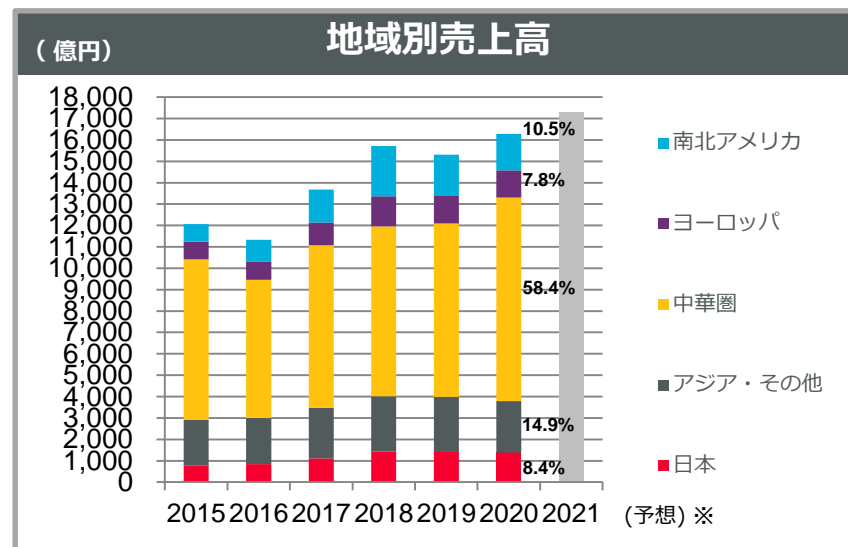
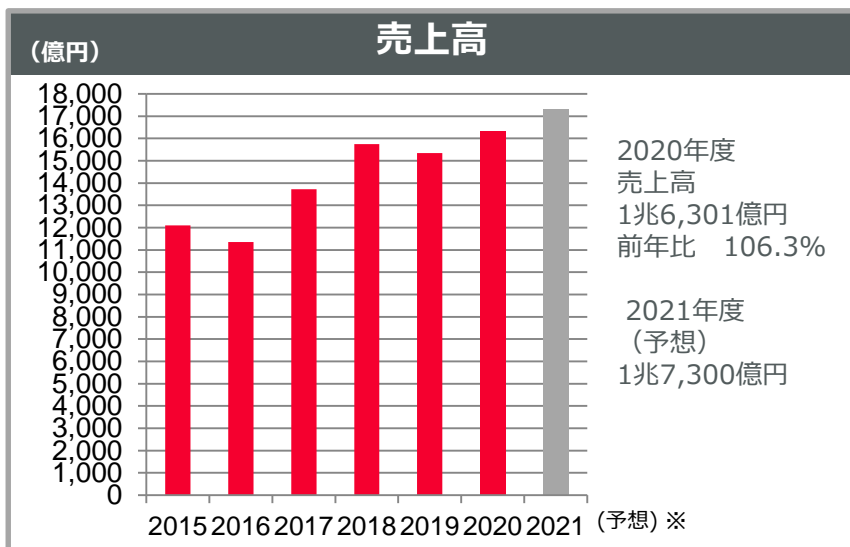
FTSE4Good Index Seriesは環境、社会、ガバナンス(ESG)について優れた対応を行っている企業のパフォーマンスを測定するために設計されたもので、サステナブル投資のファンドや他の金融商品の作成・評価に広く利用されます。ムラタは、2019年度より当構成銘柄に選定されています。



FTSE Blossom Japan Indexは、環境、社会、ガバナンス(ESG)の対応に優れた日本企業のパフォーマンスを反映するインデックスです。  
ムラタは、2019年度より当構成銘柄に選定されています。



ホワイト500は、優良な健康経営を実践している大規模法人を経済産業省が選定・認定する制度です。  
ムラタは2017年から5年連続で取得しています。



※ 2021年7月29日時点



ありがとうございました

<https://www.murata.com/ja-jp>



# 補足資料



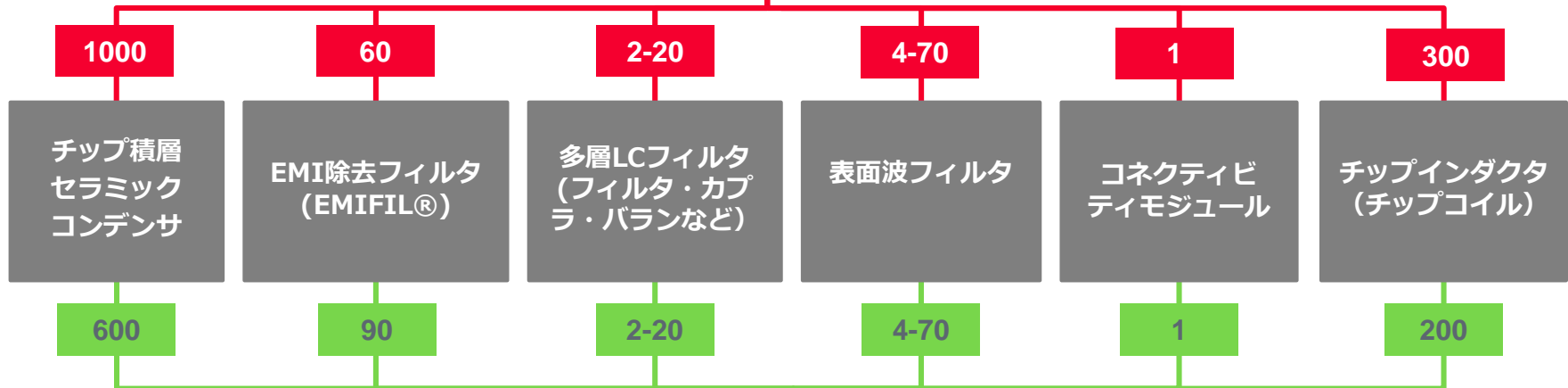


創業	1944年10月
設立	1950年12月23日
売上高	1兆6千301億9千3百万円
グループ 企業	89社（国内29社、海外60社）
従業員数	75,184名 （国内31,775名、海外43,409名）

※売上高は、2021年3月期決算。  
※従業員数は2021年3月31日時点のものです。  
※グループ企業数は2021年3月31日時点のものです。

# セット別製品所要数 (1/4)

スマートフォンへの使用量  
(個)

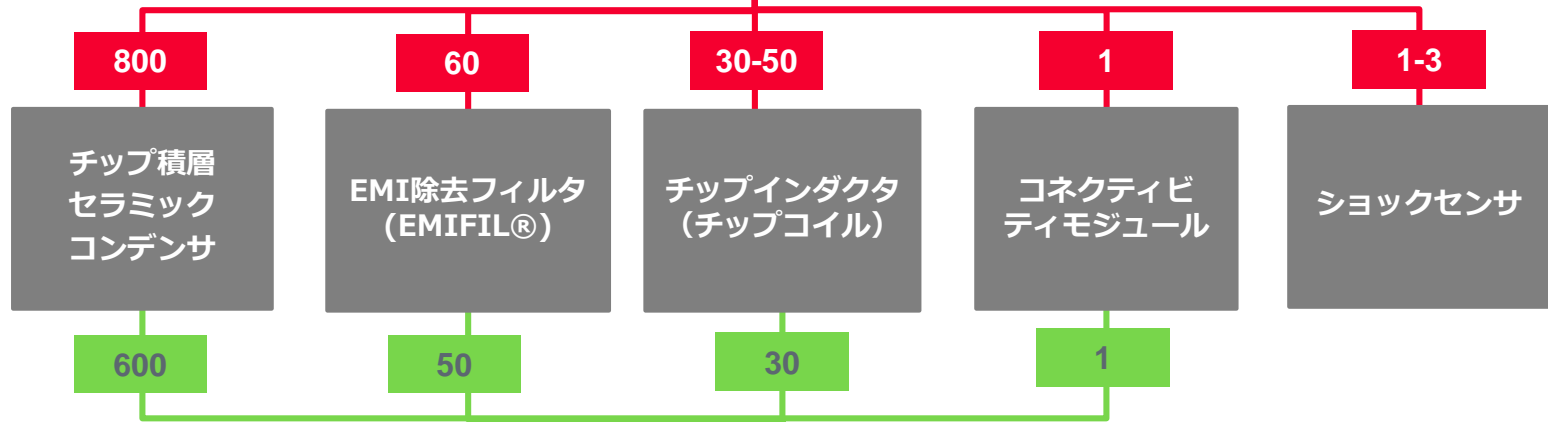


タブレットPCへの使用量  
(個)



# セット別製品所要数 (2/4)

ノートPCへの使用量 (個)

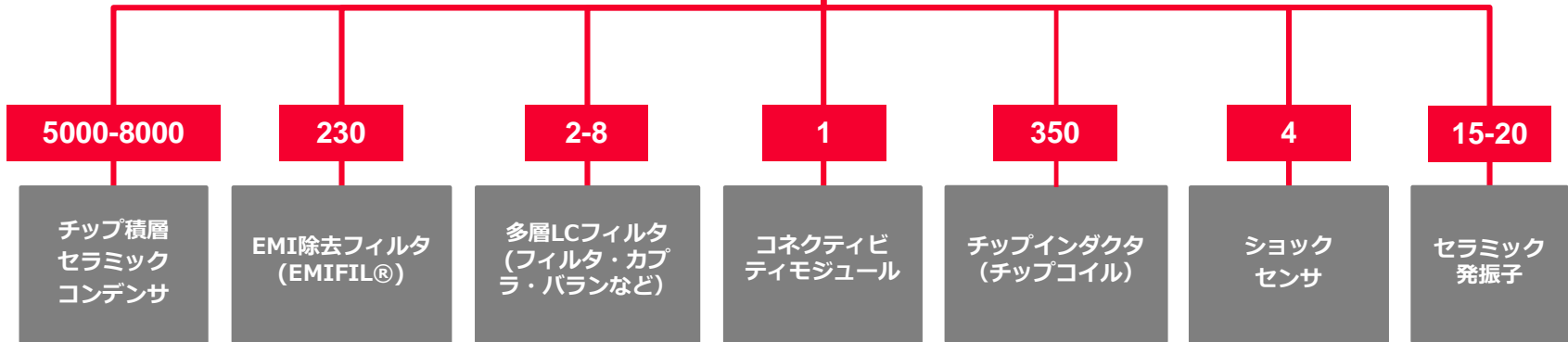


デジタルテレビへの使用量 (個)



# セット別製品所要数 (3/4)

自動車への使用量 (個)



# セット別製品所要数 (4/4)

スマートウォッチの使用量(個)



200

チップ積層  
セラミック  
コンデンサ

30

EMI除去フィルタ  
(EMIFIL®)

3

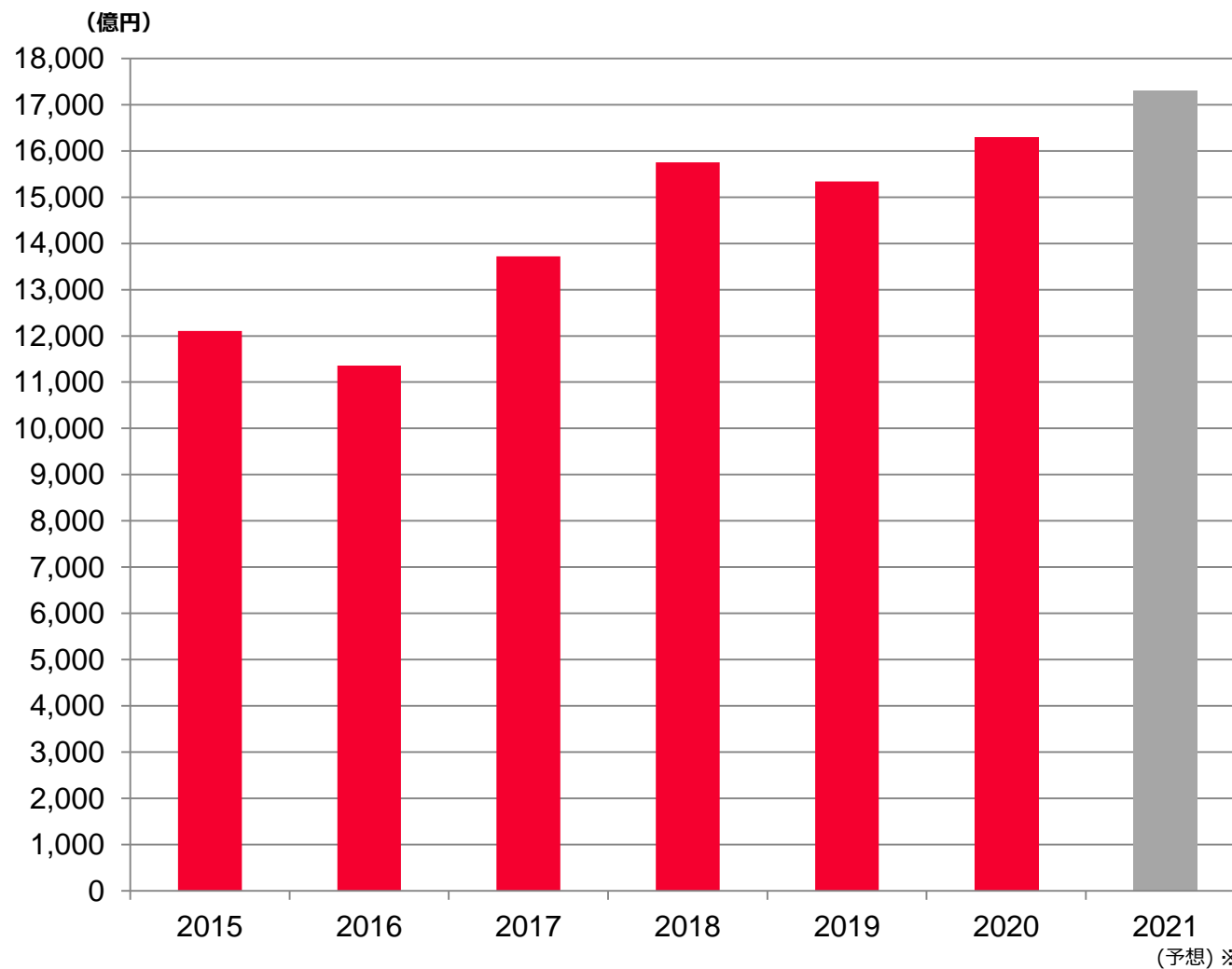
多層LCフィルタ  
(フィルタ・カプ  
ラ・バランなど)

1

コネクティブ  
ティモジュール

30-50

チップインダクタ  
(チップコイル)



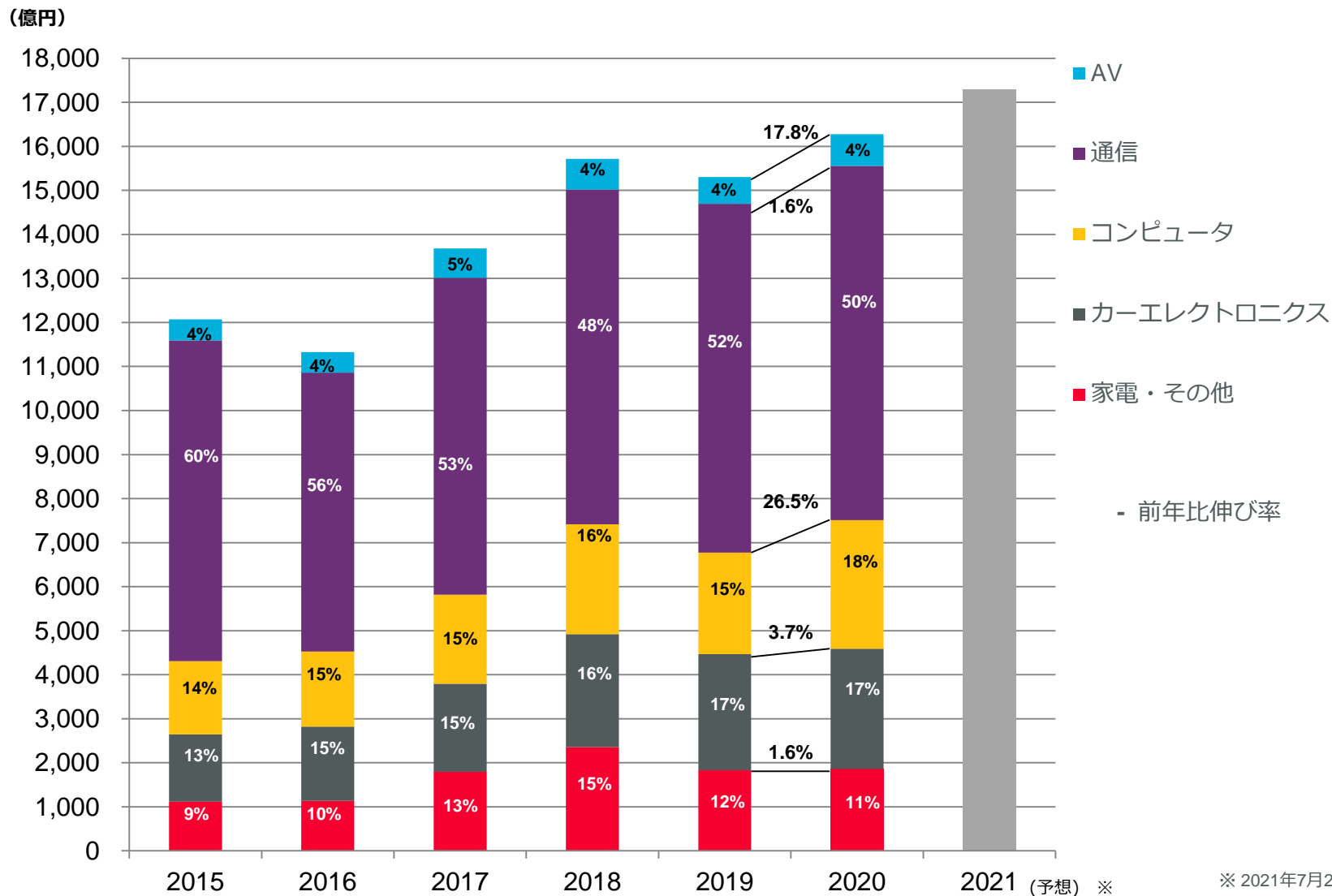
2020年度  
売上高  
1兆6,301億円  
前年比  
106.3%

2021年度  
(予想)  
1兆7,300億円

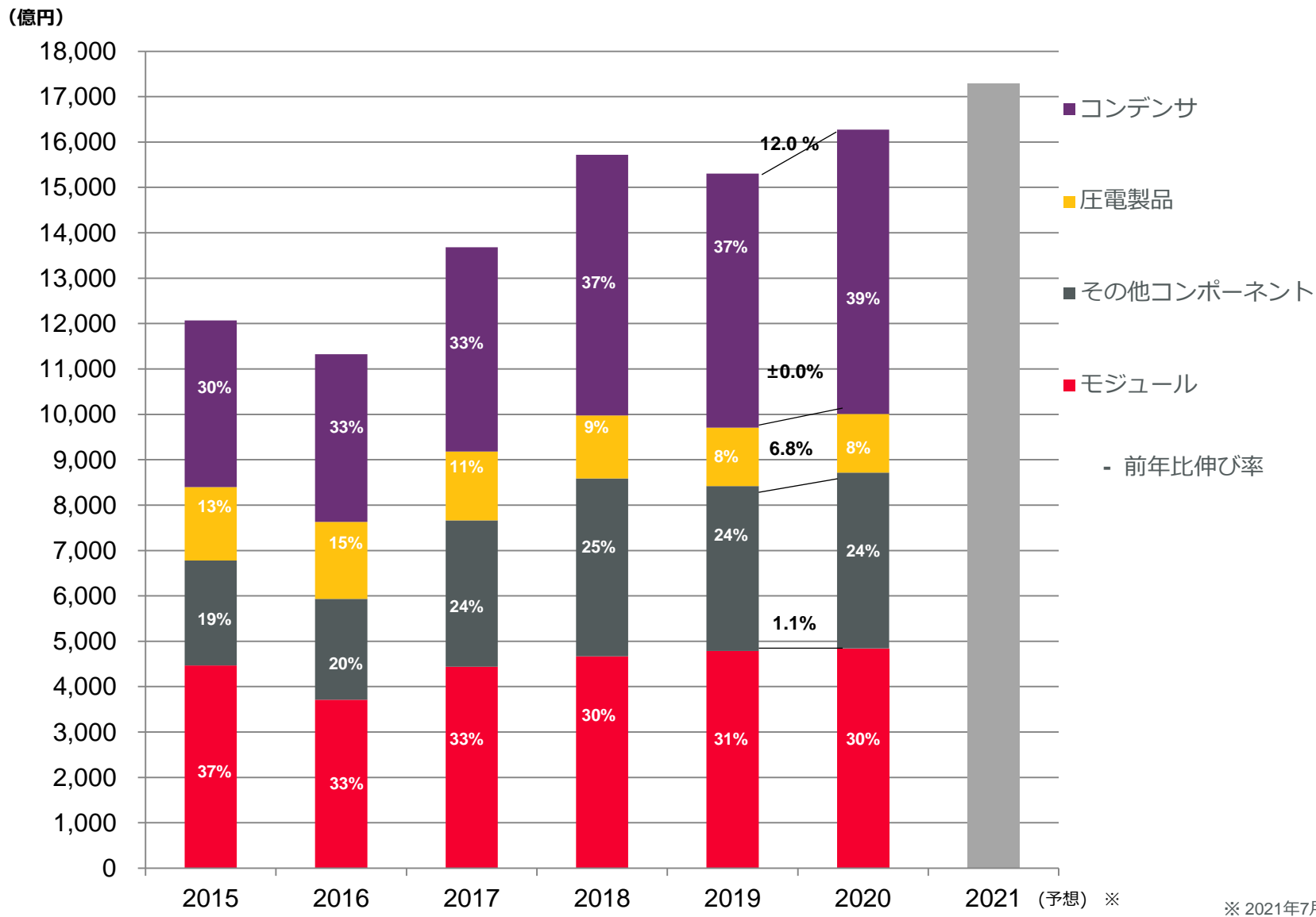
※ 2021年7月29日時点



# 市場別売上高

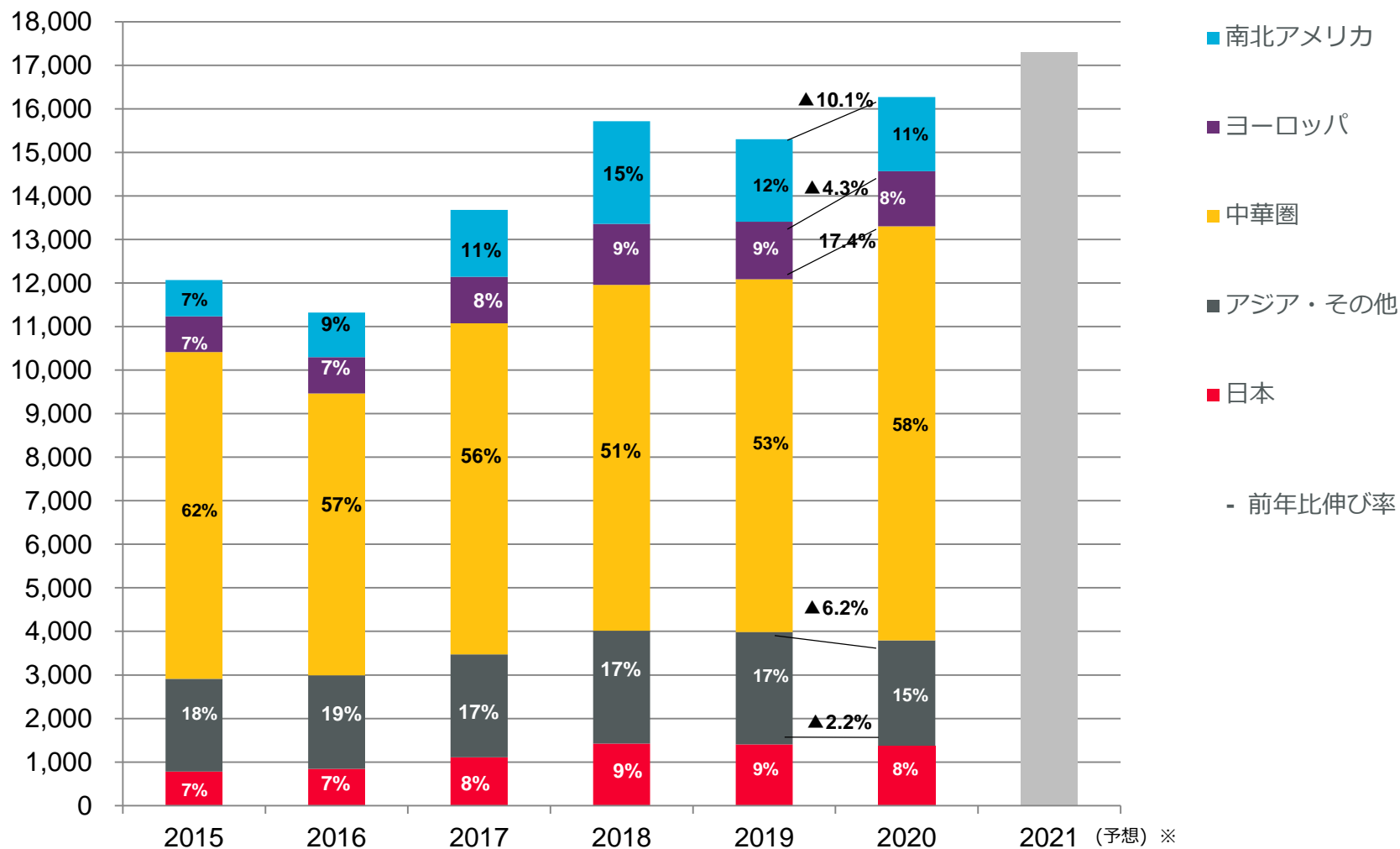


# 製品別売上高



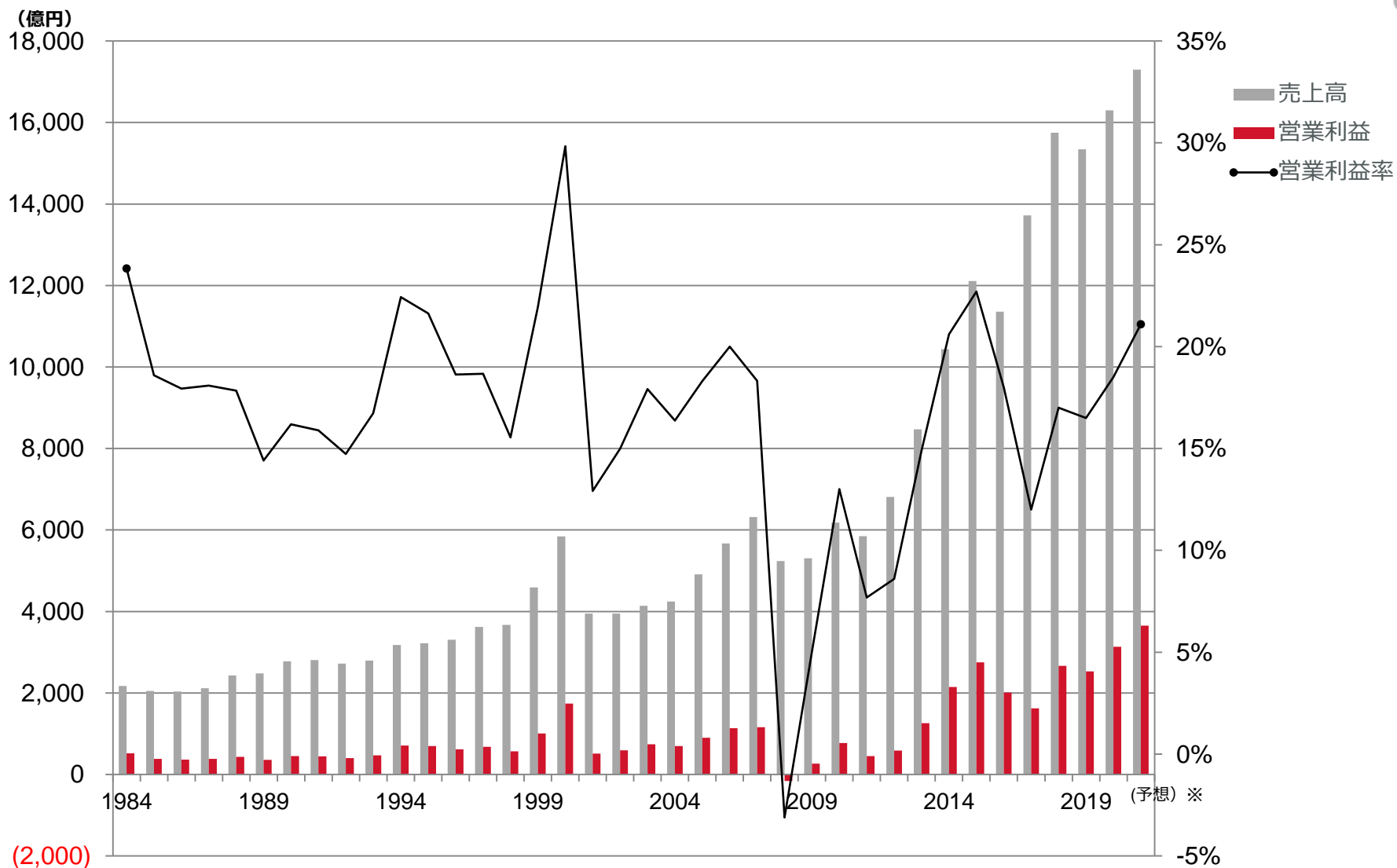
# 地域別売上高

(億円)



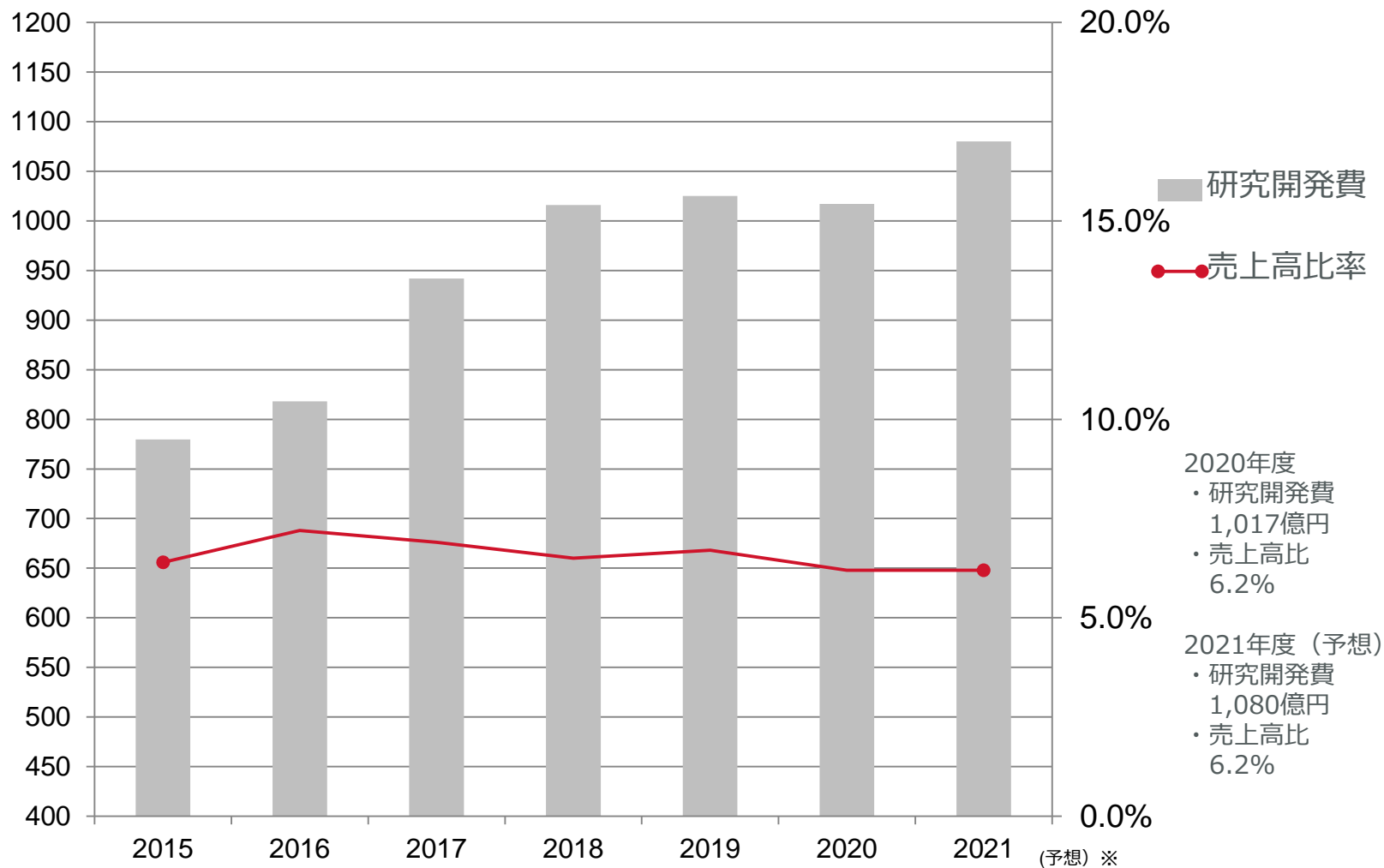
※ 2021年7月29日時点

# 売上高推移



※ 2021年7月29日時点

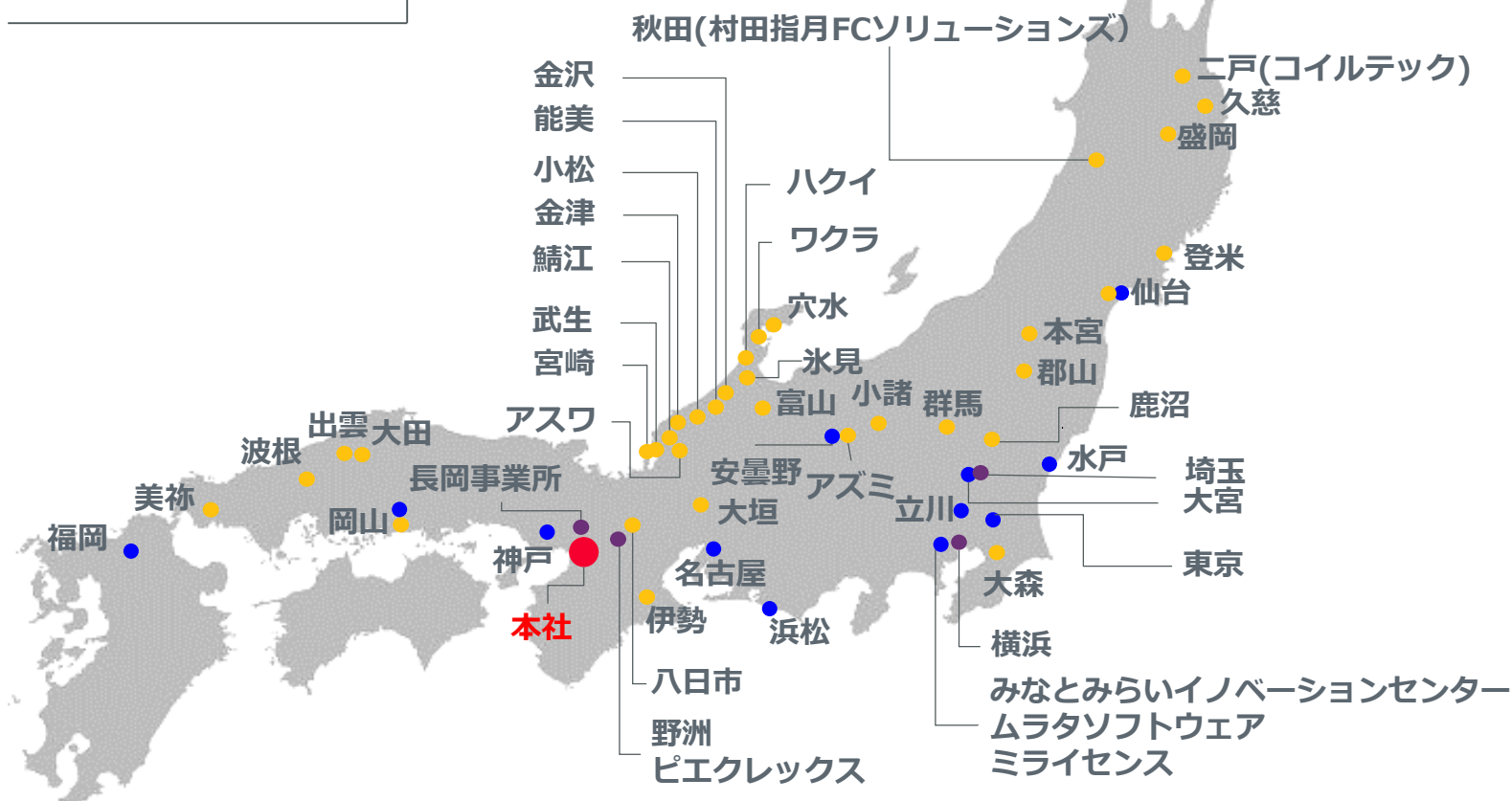
# 研究開発費と売上高比率



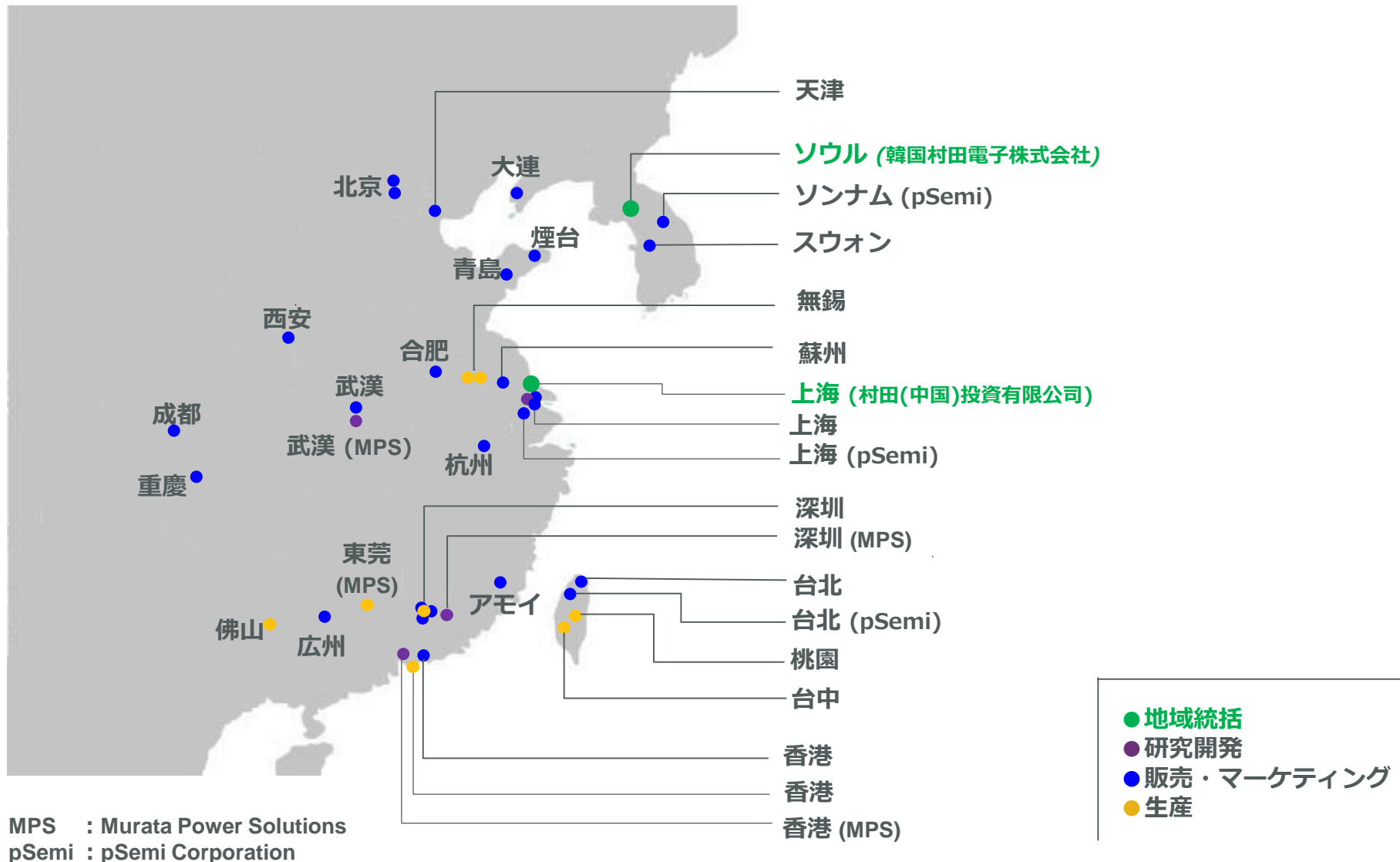
※ 2021年7月29日時点

# グローバルネットワーク\_日本

- 本社
- 研究開発
- 販売・マーケティング
- 生産



# グローバルネットワーク\_東アジア



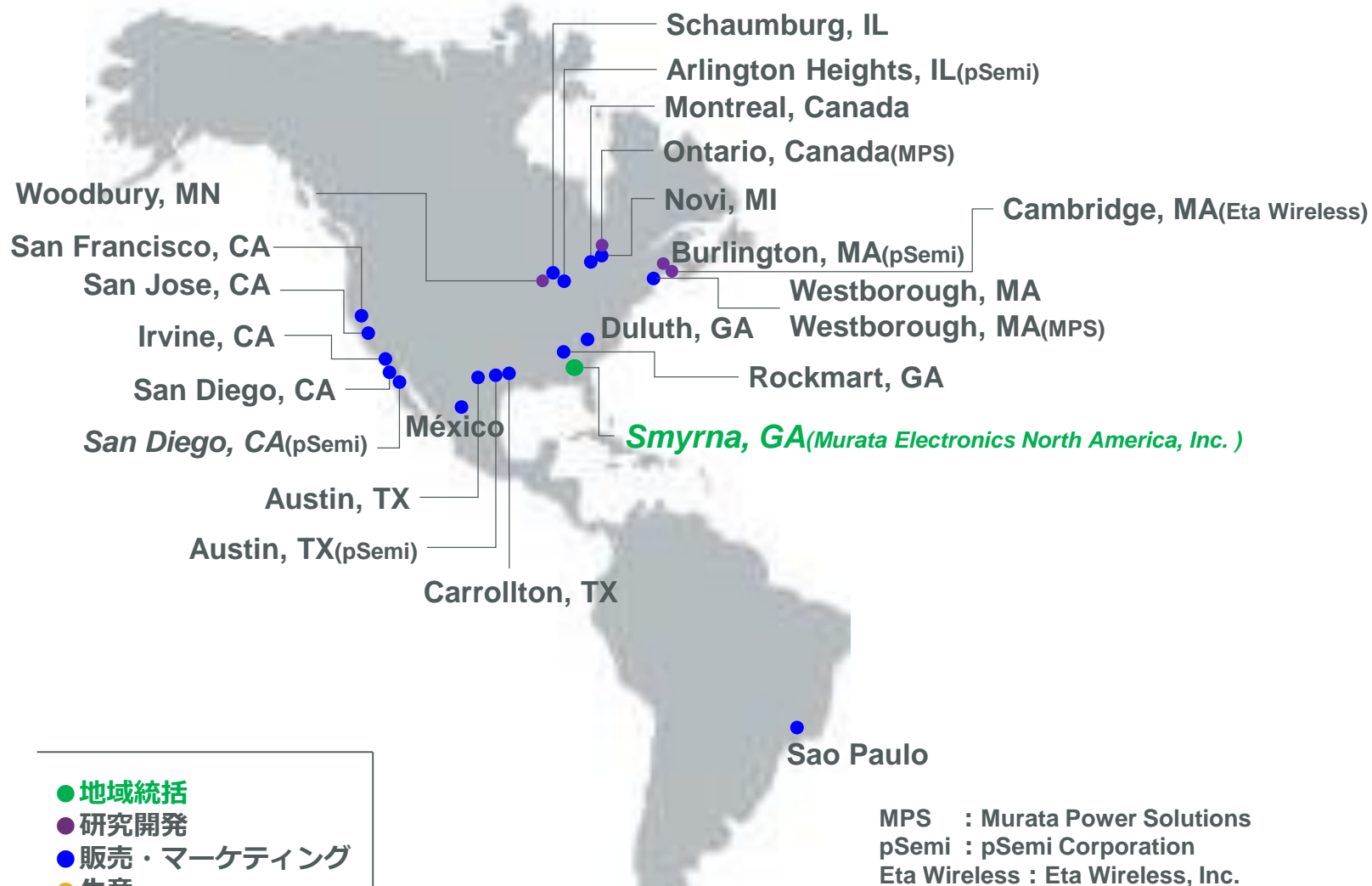
# グローバルネットワーク\_アセアン

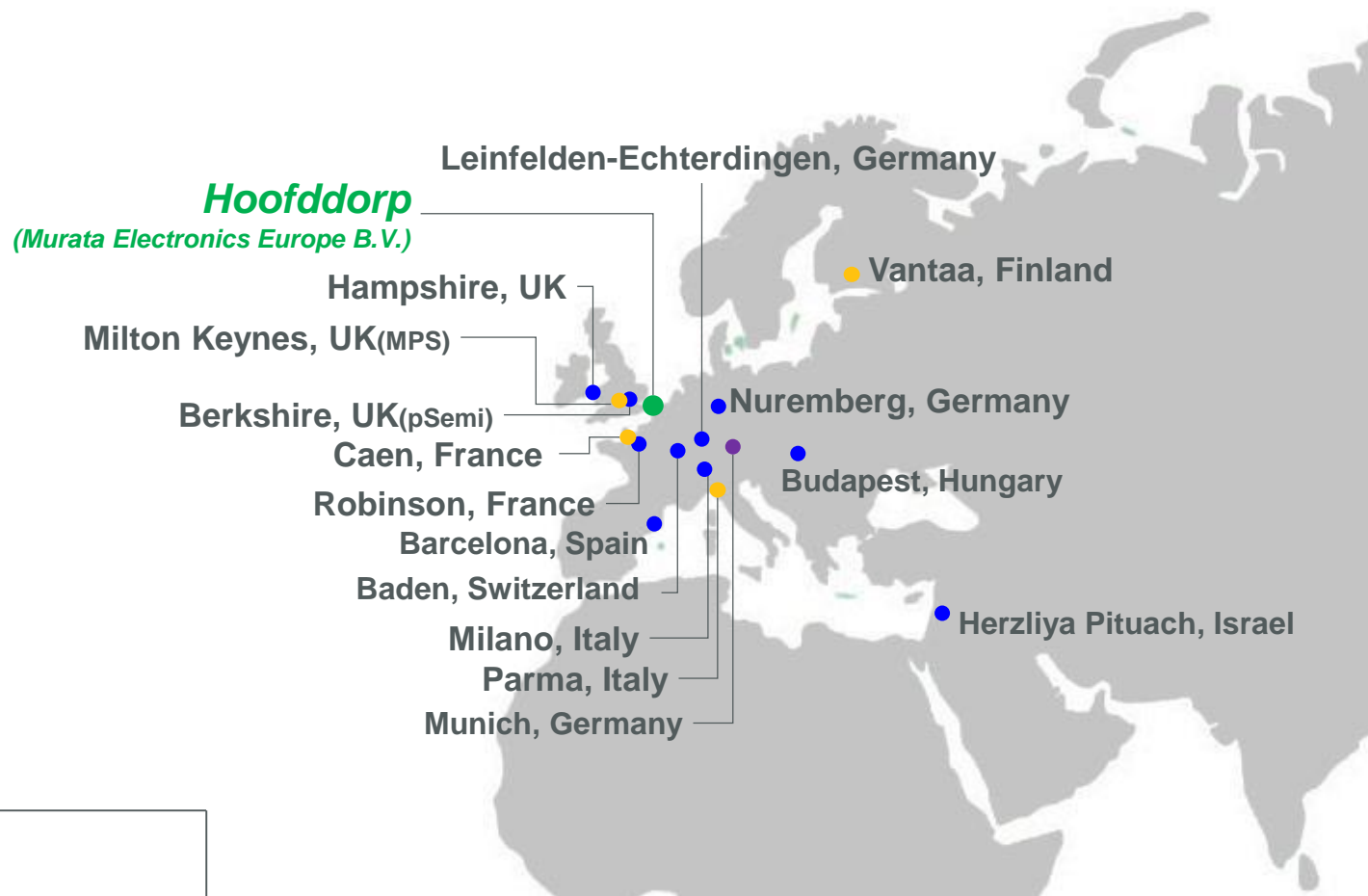


pSemi : pSemi Corporation



# グローバルネットワーク\_南北アメリカ





- 地域統括
- 研究開発
- 販売・マーケティング
- 生産

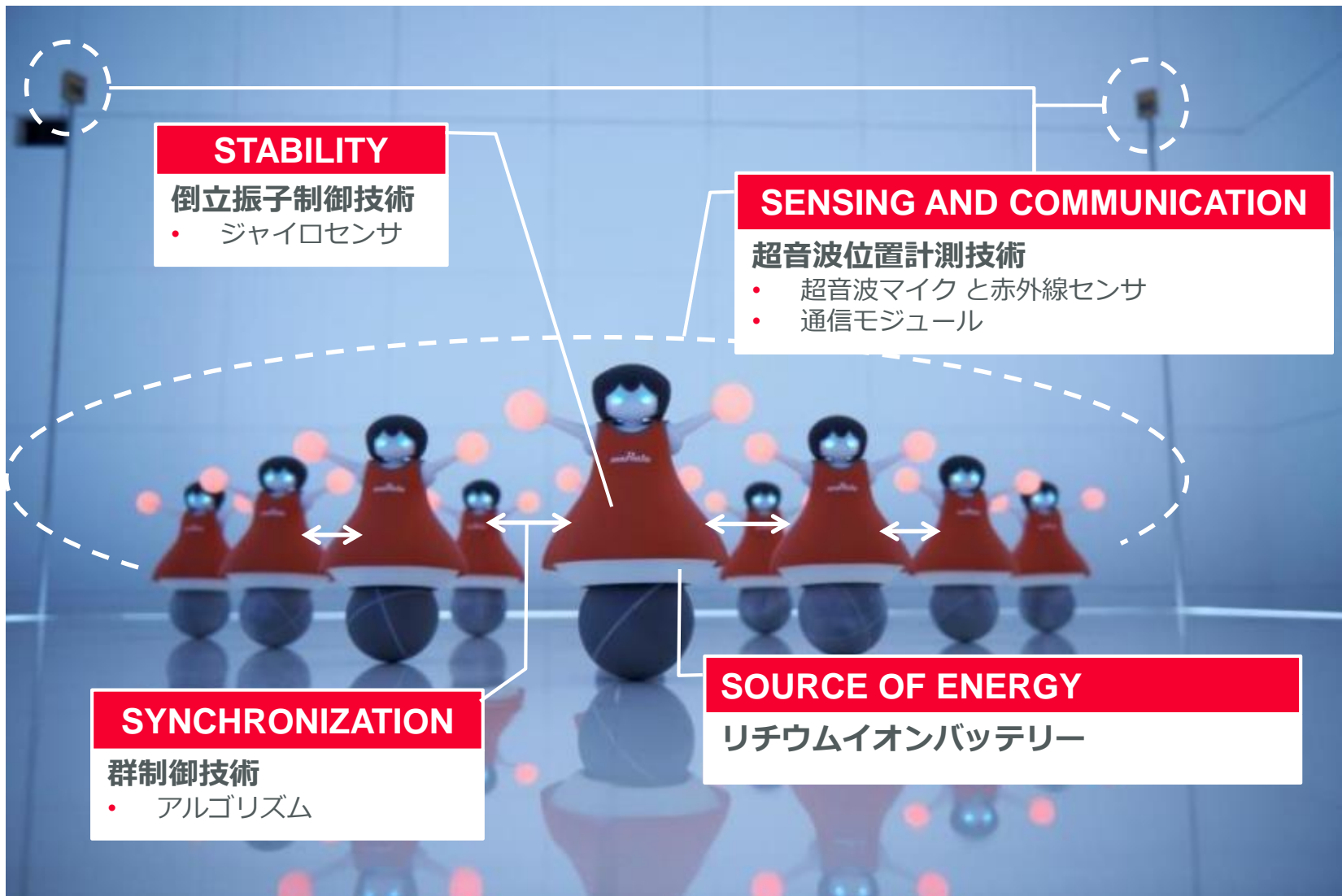
MPS : Murata Power Solutions  
pSemi : pSemi Corporation



センサ技術		エネルギー技術	
<p><b>ジャイロセンサ</b></p> <p>不倒停止や超低速走行を可能に</p>		<p><b>リチウムイオン二次電池</b></p> <p>ハイパワーと急速充電を実現した新型バッテリー</p>	
<p><b>超音波センサ</b></p> <p>障害物を検知して衝突を回避</p>		<p><b>DC-DCコンバータ</b></p> <p>体中に安定した電気を供給</p>	
通信技術		その他回路部品	
<p><b>Bluetooth®モジュール</b></p> <p>操作信号や音楽データを送受</p>		<p><b>セラミックコンデンサ</b></p> <p>電気を蓄え、電源を安定化</p>	
<p><b>アンテナ</b></p> <p>PCやケータイと電波でつなぐ</p>		<p><b>インダクタ (コイル)</b></p> <p>信号や電流を安定化</p>	
		<p><b>サーミスタ</b></p> <p>回路の過熱や充電を監視</p>	
		<p><b>EMI除去フィルタ</b></p> <p>電磁ノイズを除去して誤動作を防ぐ</p>	



ムラタセイコちゃん®



- ムラタの経営理念をふまえて、法令の遵守はもとより、高い企業倫理観にもとづき社会から信頼される企業であり続けます。
- ムラタで働くすべてのものが遵守すべき規範として「CSR憲章」を定めています。

企業統治

人権と労働

安全衛生

環境保全

公正取引・倫理

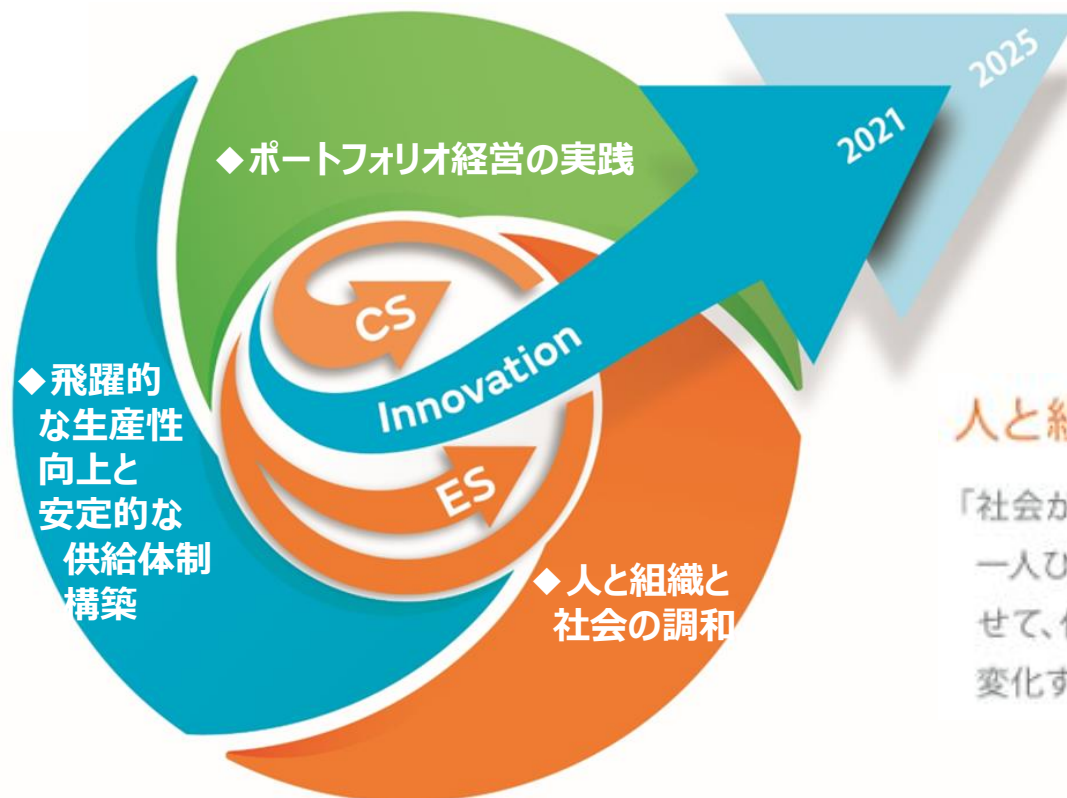
管理の仕組み

## ■ Vision2025

強い経営基盤に造り直す。そして、広がる事業機会を捉え健全に成長を続ける。

## ■ 中期構想2021

広がる事業機会を捉え健全に成長を続けるための3つの全社課題と中期基本方針



### 人と組織と社会の調和

「社会から信頼される会社であり、従業員一人ひとりの成長と事業の成長に合わせて、仕事の仕組みや組織を進化させ、変化する事業機会に対応できている。」

# 社会課題を起点とする非財務の重点課題

## 機会の側面

気候変動対策の強化に貢献する高効率部品  
持続可能な資源の利用を促進する軽薄短小部品



## リスクの側面

### E 環境

気候変動対策の強化  
持続可能な資源利用  
公害防止と化学物質管理



### G ガバナンス

安全・安心な職場と健康経営  
人権と多様性の尊重  
地域社会との共生







### S 社会

公正な商取引  
情報セキュリティ  
事業継続の取組み (BCM)



# 社会課題を起点とした重点課題と中期目標





## 【機会の側面】

重点領域	重点課題	認識しているリスクと機会	2019年度～2021年度中期目標
<b>事業を通じた社会課題の解決</b>			
<p>気候変動対策の強化に貢献する高効率部品 持続可能な資源の利用を促進する軽薄短小部品</p> <div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="width: 45%; text-align: center;">  <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;">  <p>9 産業と技術革新の 基盤をつくらう</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;">  <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> <div style="width: 45%; text-align: center;">  <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 気候変動にともなう自然災害の増大</li> <li>● 世界的なエネルギー効率の改善、再エネ利用促進</li> <li>● 省エネ/再エネ/蓄エネビジネスの市場拡大</li> <li>● 利用可能な水資源や鉱物資源の減少</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 非財務観点の事業価値を整理する。</li> <li>● 非財務観点の商品化プロセスを策定する。</li> <li>● 社会課題を切り口とした事業機会を探求する。</li> <li>● 軽薄短小・高効率の非財務価値を定量化する。</li> </ul>	



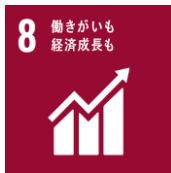


# 社会課題を起点とした重点課題と中期目標

## 【リスクの側面\_E環境】

重点領域	重点課題	認識しているリスクと機会	2019年度～2021年度中期目標
<b>事業プロセスにおける取り組み</b>			
<b>E 環境</b>  6 安全な水とトイレを世界中に  7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに  12 つくる責任 つかう責任  13 気候変動に具体的な対策を	気候変動対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 気候変動にともなう自然災害の増大による事業への影響</li> <li>● 世界的なエネルギー効率の改善、再エネ（再生可能エネルギー）の利用促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2021年度の温室効果ガス排出量を140万t-CO2以下に抑制する。</li> <li>● 国内物流の温室効果ガス排出量を実質生産高原単位で2.0kg/ 百万円以下とする。</li> </ul>
	持続可能な資源利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 利用可能な水資源や鉱物資源の減少による事業への影響</li> <li>● 廃プラ規制などサーキュラーエコノミーの拡大</li> <li>● 持続可能な調達への機運の高まり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2021年度の生産高あたりの廃棄物排出量を7%改善する。（2016年度-2018年度平均比）</li> <li>● 2021年度の生産高あたりの水使用量を6%改善する。（2016年度-2018年度平均比）</li> <li>● 実現可能なプラスチックの再生スキームの構築と経済効果を検証する。</li> </ul>
	公害防止と化学物質管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 有害化学物質の漏洩、流出、製品への混入の可能性</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製品含有化学物質に関する社内外の要求（法的要求・お客様要求・ムラタ基準）を製品仕様に反映する。</li> <li>● 社会の潮流や法令改定などの動向を捉え、先行した対応を実施する。</li> </ul>




# 社会課題を起点とした重点課題と中期目標

## 【リスクの側面\_ S 社会】

重点領域	重点課題	認識しているリスクと機会	2019年度～2021年度中期目標
<b>事業プロセスにおける取り組み</b>			
<b>S 社会</b>     	安全・安心な職場と健康経営	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業成長にともなう人員の急増に起因した労災発生の可能性</li> <li>● 感染症拡大などを契機とした従業員やビジネスパートナーの健康や安全意識の高まり</li> </ul>	<p>[労働災害の削減]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 死亡あるいは後遺障害の残る重大労災を発生させない。</li> <li>● 年間労災千人率 1.6以下とする。</li> </ul> <p>[健康経営の推進]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康経営推進体制を整備する。</li> <li>● 事業運営上の健康管理分野のリスクを低減する。</li> </ul>
	人権と多様性の尊重	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外国人労働者の増加や事業展開地域の拡大にともなう人権リスクの高まり</li> <li>● 多様な人材が力を発揮しきれないことによる競争力の低下</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「人権・労働に関するマネジメントシステム」を定着させ、効果的にPDCAを回し、改善を図る。</li> <li>● ダイバーシティ&amp;インクルージョンを推進する。</li> <li>● マネジメントの役割を担う女性を増加させるための取り組みを行う。</li> <li>● 障がい者がやりがいをもって働く機会の提供と、継続して雇用できる体制を整備する。</li> </ul>
	地域社会との共生	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事業展開地域における地域社会からの期待の高まり</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「人と組織と社会の調和」を目指して、創業者の理念である「そこにムラタがあることがその地域の喜びであり誇りでありたい」をグローバルレベルで実現する。</li> </ul>

# 社会課題を起点とした重点課題と中期目標

## 【リスクの側面\_G ガバナンス】

重点領域	重点課題	認識しているリスクと機会	2019年度～2021年度中期目標
<b>事業プロセスにおける取り組み</b>			
<b>G ガバナンス</b>   9 産業と技術革新の基盤をつくろう   11 住み続けられるまちづくりを   16 平和と公正をすべての人に	公正な商取引	<ul style="list-style-type: none"> <li>● カルテルや贈収賄の防止に対する世界的な要請の強まり</li> <li>● 法や社会規範を逸脱することによる企業価値の毀損</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グローバルで「カルテル及び贈収賄防止に関するベーシックポリシー」を実践するために、海外統括会社と連携し、コントロールプロセスのモニタリングや教育を含むグローバル・コンプライアンス活動のPDCAサイクルを、海外子会社で展開する。</li> </ul>
	事業継続の取り組み (BCM)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 大規模災害の発生</li> <li>● 世界的な感染症の流行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グローバルレベルでのリスクマネジメントのPDCAが有効に機能し、リスクマネジメントの考え方が日常業務の一部として浸透している。</li> <li>● 想定されるリスクに対応したBCPの整備をすすめ、当社の事業継続を阻害するリスクの未然防止、リスクが現実化した場合の損失の軽減化を図る。</li> </ul>
	情報セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> <li>● サイバー攻撃の巧妙化と増加</li> <li>● 重要な技術情報や個人情報等の漏洩</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グローバルレベルでの情報セキュリティ施策のPDCAが有効に機能し、情報セキュリティの考え方が日常業務の一部として浸透している。</li> </ul>

# 重点課題の取り組み事例

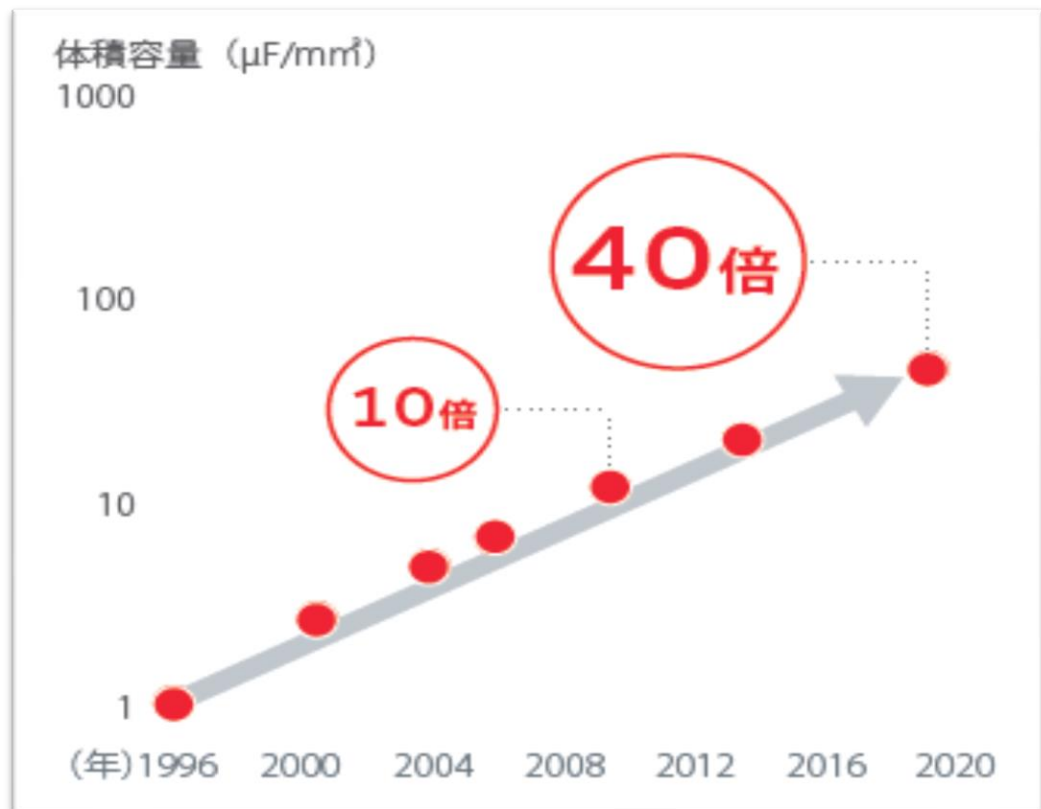
## 【持続可能な資源の利用を促進する軽薄短小部品】

### 技術開発や製品供給を通じ社会に貢献

ムラタの事業を通じた社会課題の解決への取り組みのひとつとして、小型化を追求して利便性を図りながら、幅広い市場への製品供給があります。

中でもMLCC(積層セラミックコンデンサ)の体積容量

( $\mu\text{F}/\text{mm}^3$ )の変遷は、軽薄短小の技術開発が社会のニーズに応え、お客様の商品を通じて人々の生活の利便性向上や持続可能な資源利用に貢献してきたひとつの成果といえます。



# 重点課題の取り組み事例

## E 環境【気候変動対策の強化】

### 再生可能エネルギーの導入

岡山村田製作所が所有する1,200台分の社有駐車場を活用し、日本最大級となる駐車場型メガソーラーシステムを導入、2020年3月に発電を開始しました。

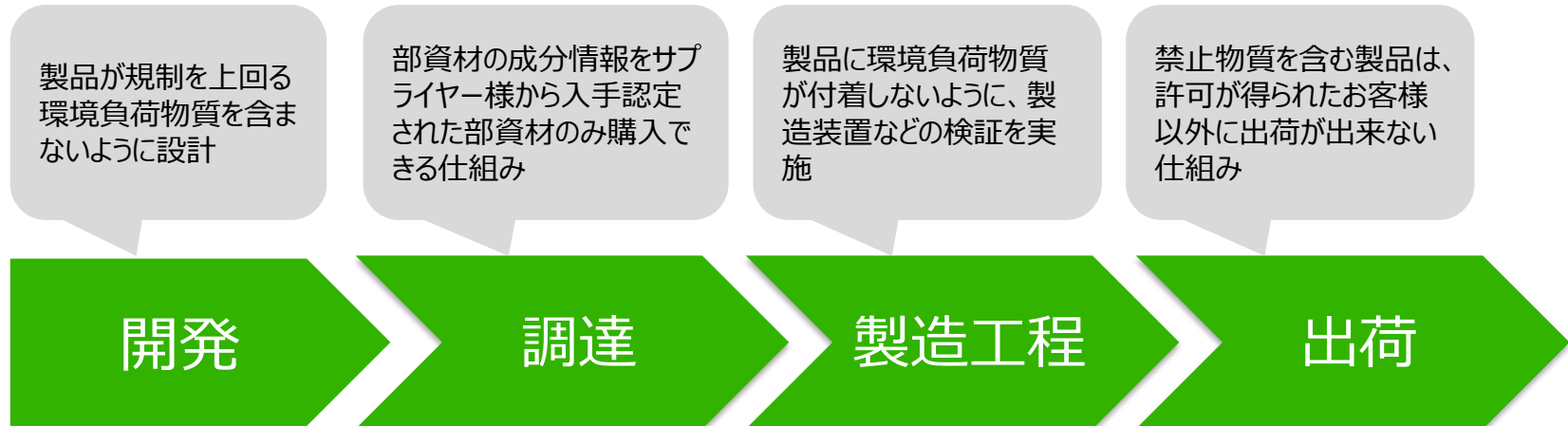


本システムによる発電能力は年間で一般家庭600世帯相当、削減できるCO<sub>2</sub>は1,698t- CO<sub>2</sub>を見込んでいます。

## E 環境【公害防止と化学物質管理】

### 公害防止の取り組み

RoHS指令やREACH規則などの法令遵守はもとより、環境負荷物質のグローバル・トレンドやお客様からのご要求を取り入れたムラタの自主基準を設け、下図のような管理体制で、製品に含有される環境負荷物質の削減・禁止に積極的に取り組んでいます。



さらに、改正RoHS指令の施行（2019年7月）に先立ち、2017年7月から新規開発製品に対し特定フタル酸エステル類の含有を禁止しています。また、接触汚染を防止するため、工程や物流の過程で接触する包装材やツール類も管理の対象としています。

### 公害防止の取り組み

ムラタでは、化学物質による汚染を重要な環境リスクと認識し、その回避に努めています。化学物質の貯蔵や事業所内移送に関連する設備の基準、環境インシデントを発生させない運用管理について、自主的にルールを定めて対策を実施しています。

#### 未然防止のための自主的なルール

- ・地下埋設タンクの原則禁止
- ・浸透防止塗装
- ・地下埋設配管の禁止
- ・緊急遮断装置
- ・環境インシデントレベルの設定
- ・事業所から排出する環境影響の測定および自主基準値の設定

### 新型コロナウイルス感染症への対応

従業員の健康と安全、事業運営を守るための感染防止策をさまざまな機能が連携して、ハード面とソフト面との両面からフォローを実施しています。

なお、ムラタの事業は通信端末、基地局、サーバー、自動車、医療機器等、社会のインフラや経済を支える産業にとって不可欠な存在であることから、従業員の安全確保を最優先し感染リスクとのバランスを考えながら、引き続き生産活動を行ってまいります。

**自宅等でテレワークを行う際の作業環境整備**

**部屋** 設備の占める容積を除き、**10㎡以上の空間**  
(参考条文：事務所衛生基準規則第2条)

**照明** ・机は**照度300ルクス以上**とする  
(参考条文：事務所衛生基準規則第10条)

**窓** ・窓などの換気設備を設ける  
・ディスプレイに太陽光が入射する場合は、窓にブラインドやカーテンを設ける  
(参考：事務所衛生基準規則第3条、情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドライン)

**椅子** ・安定していて、簡単に移動できる  
・座面の高さを調整できる  
・傾きを調整できる背もたれがある  
・肘掛けがある  
(参考：情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドライン)

**その他 作業中の姿勢や、作業時間にも注意しましょう!**  
・椅子に深く腰かけ背もたれに背を十分にあて、足裏全体が床に接触した姿勢が基本  
・ディスプレイとおおむね40cm以上の視距離を確保する  
・情報機器作業が過度に長時間にならないようにする  
(参考：情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドライン)

**室温・湿度** ・気流は0.5m/s以下で直接、継続してあたらず  
**室温17℃~28℃**  
**相対湿度40%~70%**となるよう努める  
(参考条文：事務所衛生基準規則第5条)

**PC** ・ディスプレイは**照度500ルクス以下**で、輝度やコントラストが調整できる  
・キーボードとディスプレイは分離して位置を調整できる  
・操作しやすいマウスを使う  
(参考：情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドライン)

**机** ・必要なものが配置できる広さがある  
・作業中に肩が窮屈でない空間がある  
・体型に合った高さである、又は高さの調整ができる  
(参考：情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドライン)

情報機器作業とは、パソコンやタブレット端末等の情報機器を使用して、データの入力・検索・照会等、文章・画像等の作成・編集・修正等、プログラミング、監視等を行う作業です。

※参考：情報機器作業における労働衛生管理のためのガイドラインより



CO<sub>2</sub>濃度測定器を用い空気測定の様子



# 重点課題の取り組み事例

## S 社会【人権と多様性の尊重】

### CSR調達の推進

現在ムラタではCSR調達において主に下記3点について取り組んでいます。

- ① 仕入先様には、経営理念を土台とした「ムラタCSR憲章」と、それに基づく、「仕入先様に求める基本姿勢」をまとめ、その遵守をお願いしています。
- ② 口座開設時には、「CSR同意書」を締結し、仕入先様においてもRBAのCode of Conduct（行動規範）に準拠した活動を推進していくことについて同意をいただいています。
- ③ 2017年からは、「CSR遵守状況チェックリスト」の運用を開始し、仕入先様自身がCSR遵守状況をセルフアセスメントできると同時に、課題を「見える化」することができ、またその結果をムラタと共有化し、その課題や是正方法について双方で協議することでより効率的で根本的な解決を行うことを目指しています。この活動は毎年定期的に行っており、今後も継続して実施していく予定です。

※ RBA（責任ある企業同盟）



# 重点課題の取り組み事例

## S 社会【地域社会との共生】

### 「ムラタの森」活動の推進

生物多様性保全の施策として、里山保全の重要性が言われております。  
ムラタでは、国内数ヶ所で「ムラタの森」と題した里山保全活動に取り組んでいます。



間伐



間伐材を利用したベンチづくり

# 重点課題の取り組み事例

## S 社会【地域社会との共生】

### 体験型プログラミング出前授業「動け！！せんせいロボット」で プログラミング教育を支援

2019年度からは、小学校の学習指導要領で目的とされている「プログラミング的思考（論理的に考えていく力）の習得」に貢献する体験型プログラミング教育出前授業を開始しました。

**動け!!  
せんせい  
ロボット**



# 重点課題の取り組み事例

## G ガバナンス【情報セキュリティ】

### 情報セキュリティへの取り組み

#### ■ 人的側面

日本語、英語、中国語の3ヶ国語で作成した「情報セキュリティガイドブック」を全従業員に配付するほか、教育、階層別社内研修、メールマガジンの発行などによる啓発活動を実施しています。



日本語、英語、中国語による「情報セキュリティガイドブック」

#### ■ 技術的側面

ムラタの企業機密や個人情報への漏えい、サイバー攻撃による企業活動の停止などを抑止するため、マルウェア対策、インターネット通信のチェックやアクセスコントロール、脆弱性の診断とその対応などの対策、端末監視を強化。また、グローバルで各種ログを収集・監視し、重大なセキュリティ事故になりうるインシデントへの対応体制も構築し、日々変化するサイバー攻撃への対応・対策を進めています。

#### ■ 物理的側面

国内外の事業所・関係会社において、敷地境界では人や車両の入出門管理を常時実施しています。敷地内では、セキュリティゾーンを設定し、機密の高いゾーンにはIDカード等によるアクセスコントロールを行うなど、社内外からの不正侵入を多重に防いでいます。